

# 令和3年度 広島大学留学生の学習と生活に対する支援調査結果概要報告

## はじめに

本報告は、令和4年2月に実施した本学の留学生対象のアンケート調査「広島大学留学生の学習と生活に対する支援調査」の結果を集約したものである。

広島大学には1,800人以上の留学生が在籍しており(アンケート開始時点)、彼らが直面する生活・修学上の多様な課題を解決すべく、留学生支援ネットワークは定期的に連絡会議を開催し、情報共有および支援体制の構築に努めている。そこで議論される対象は多岐にわたり、効果的効率的な留学生支援のためには状況把握が重要であるという共通認識のもと、今年度も留学生に対する支援調査を実施することとなった。

本調査の内容および構成は、留学生支援ネットワークのメンバーによって作成され、本学学生向け情報ポータルサイト「もみじ」内「アンケート」機能を用い、全留学生を対象に調査を行った。

令和3年度の留学生支援ネットワークメンバーは以下のとおりである。

ハラスメント相談室  
保健管理センター  
アクセシビリティセンター  
グローバルキャリアデザインセンター  
学生生活支援グループ  
霞地区運営支援部国際室  
留学生担当教員  
グローバル化推進グループ

## I. アンケートの調査方法と内容

アンケート調査は広島大学に在籍する全留学生 1,814 名を対象とし、回答数は 410 名であった(回収率は 23%)。

アンケート調査項目は日本語と英語を併記した。

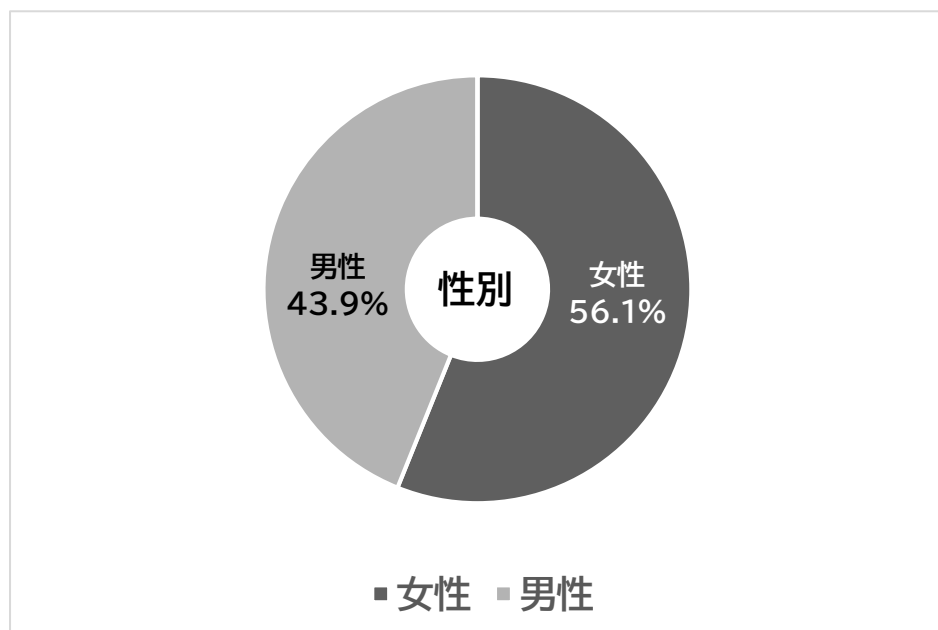
アンケートは例年とほぼ同じ項目を用いているが、令和 2 年度アンケートに引き続き新型コロナウイルス感染拡大による影響に関する設問を追加している。内容は 7 つに分かれており、1)一般的な質問、2)コミュニケーション言語について、3)広島大学と指導教員について、4) 学生生活支援について、5) 広島大学における学習、生活に関する満足度、6)新型コロナウイルス感染拡大の影響について、7)自由記述である。

回答者は、質問によって対象者が異なっていること、一部の質問に回答していないなどの無回答などもあるために、質問によって全回答者数に違いがある。

## II. アンケート調査結果

### 1. 一般的な質問

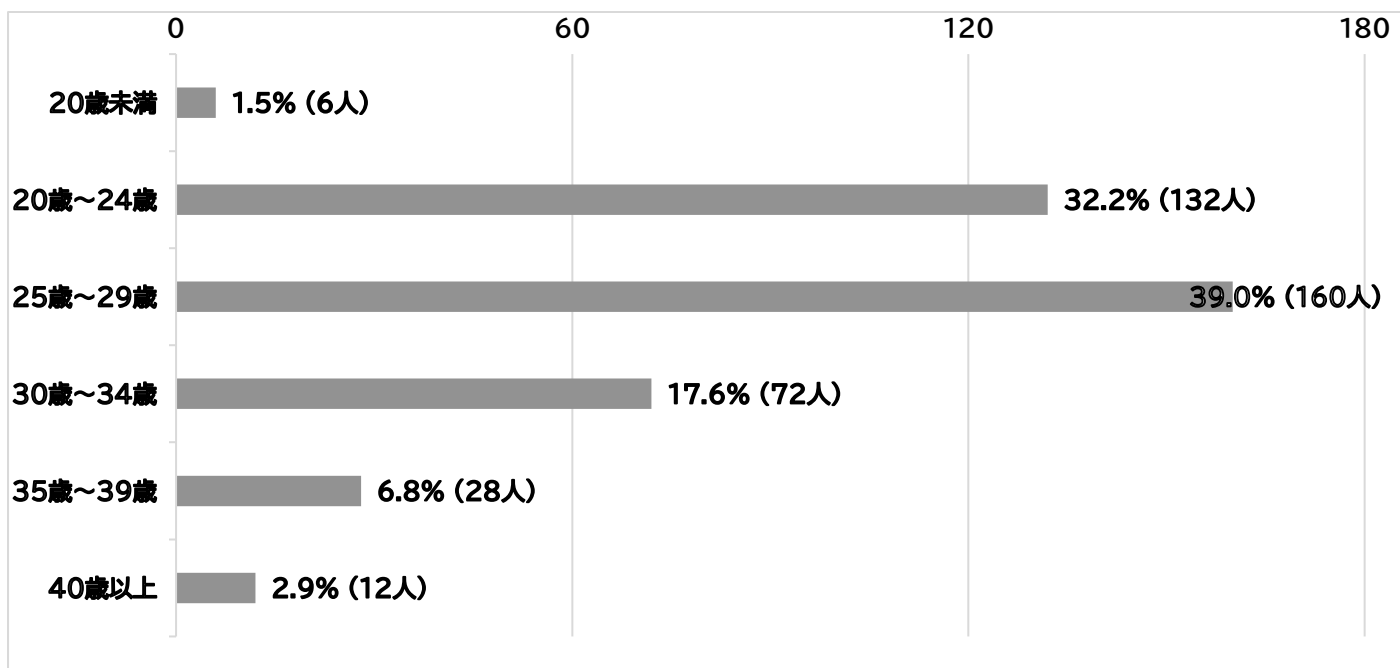
#### 1.1 性別 (有効回答 410)



回答者の内訳は女性 230 名、男性 180 名であった。

令和 3 年 11 月 1 日時点の留学生全体の男女比と比較して、大きな差はみられないが、男性の回答率の方がやや低い傾向にある。(令和 3 年 11 月 1 日時点の男女比:男性 48.6%, 女性 51.4%)

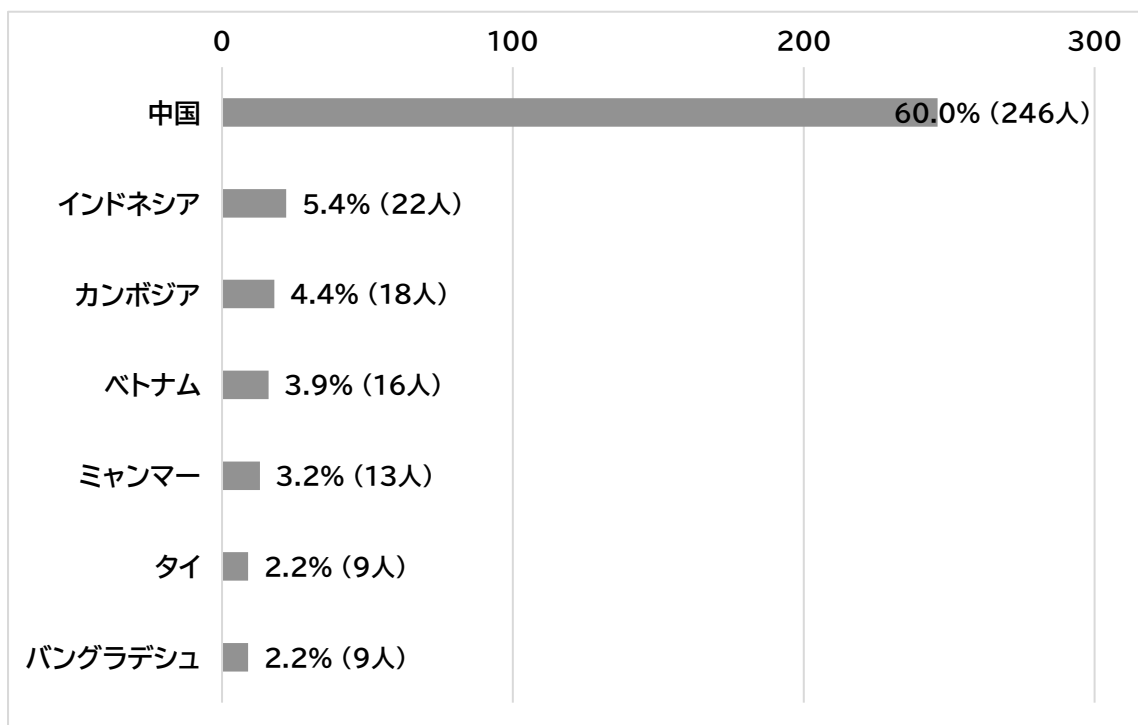
## 1.2 年齢（有効回答 410）



20代が回答者全体の約7割を占める結果となった。

過去3年間と比較すると、20代前半の学生が占める割合が減少しており、20代後半以上の回答者の割合が増加している。

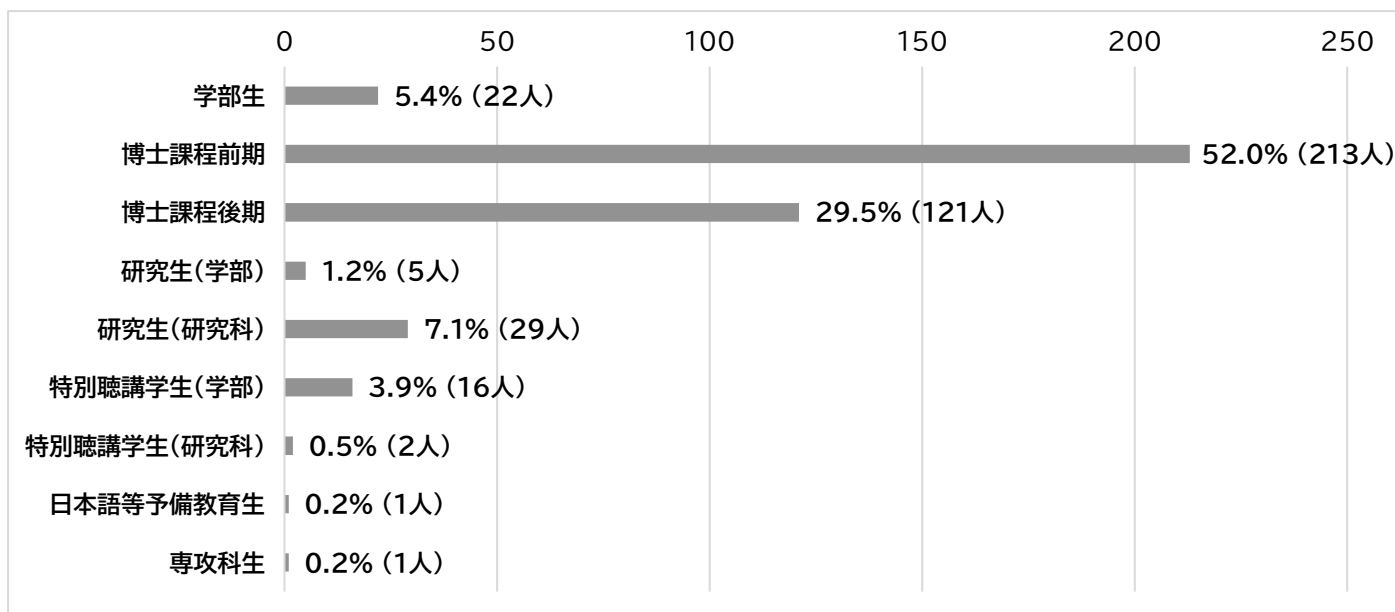
## 1.3 出身国・地域（有効回答 410）



回答者のおよそ6割が中国出身で、令和3年11月1日時点の留学生全体の比率とほぼ一致する。

その他も、出身者の数に比例して回答が多くなる傾向が見られた。

## 1.4 学籍（有効回答 410）



全体の約 8 割が大学院学生からの回答であった。

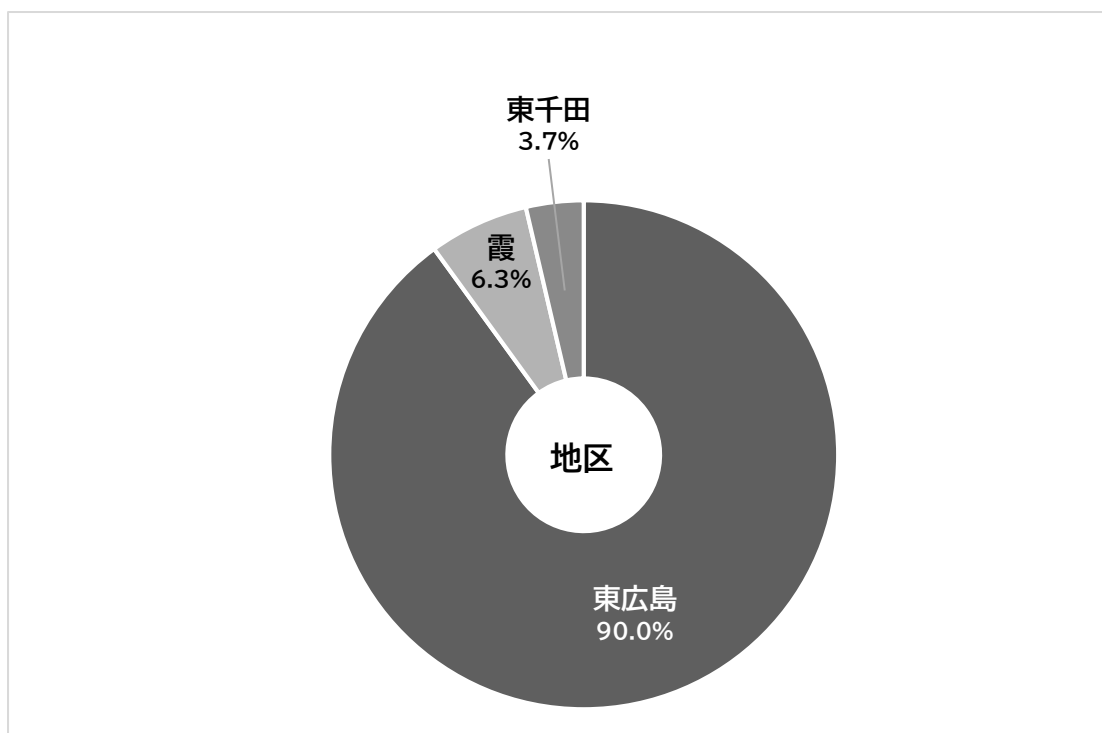
	学部生	博士課程 前期	博士課程 後期	外国人研究生・ 特別研究学生	特別聴講 学生 (学部)	特別聴講 学生 (研究科)	日本語予備 教育生
全体	6.1%	40.6%	31.8%	13.3%	6.3%	1.2%	0.7%
回答者	5.4%	52.0%	29.5%	8.3%	3.9%	0.5%	0.2%

それぞれの数値を大学の留学生全体に占める割合（R3.11.1 現在）と比較し、特に外国人研究生の回答率が低い傾向が見られた。調査実施時点では日本政府による水際対策の影響により新渡日留学生の入国ができない状況が続いていたため、渡日前に学籍が発生しない（＝もみじを利用できない）学生が一定数いたことが要因として考えられる。

### 1.5 所属（有効回答 381）

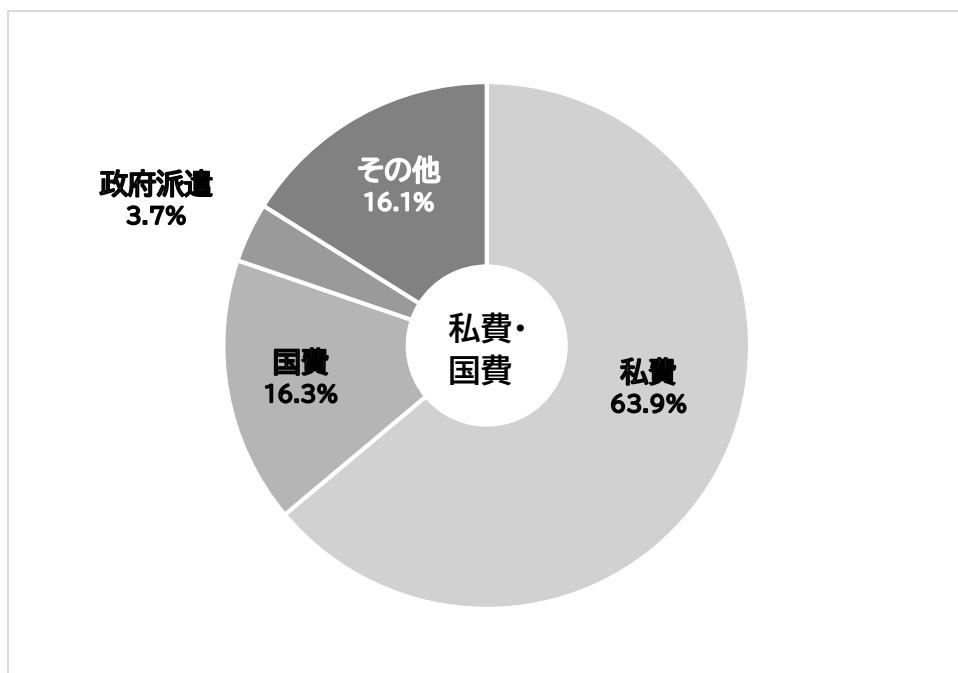


### 1.6 地区（有効回答 410）



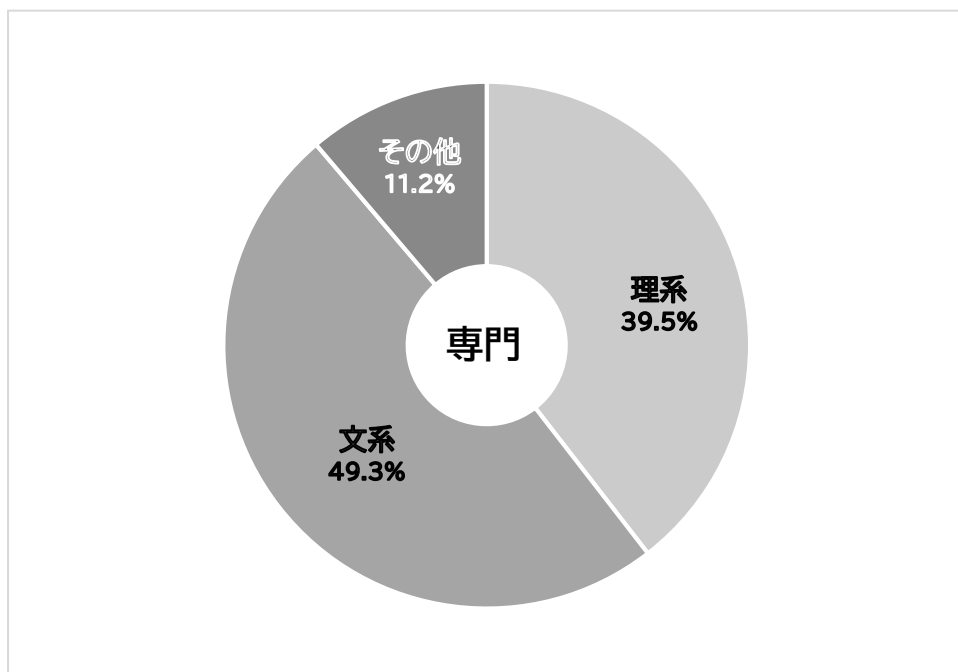
回答者の内訳は東広島 369 名，霞 26 名，東千田 15 名であった。

### 1.7 私費・国費（有効回答410）



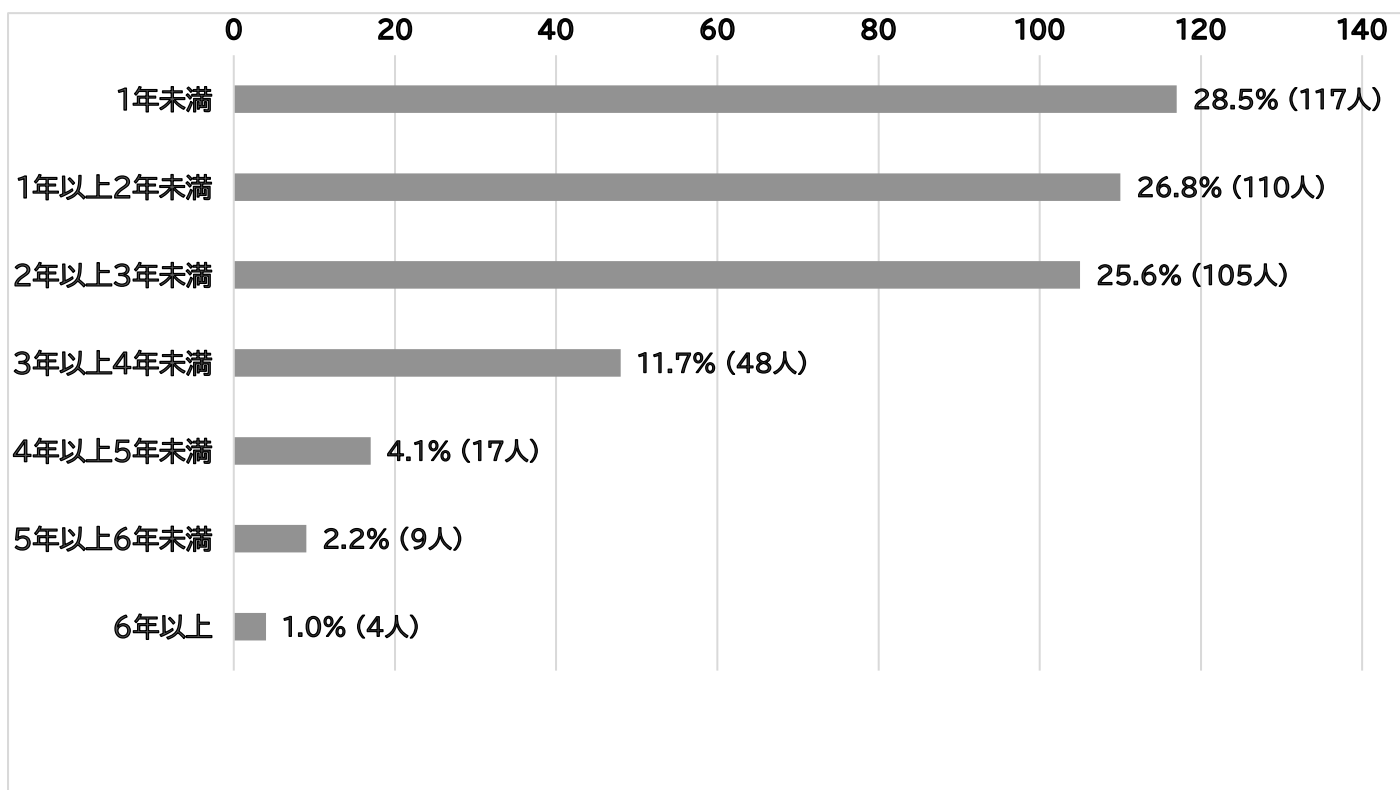
回答者の内訳は私費 262 名, 国費 67 名, 政府派遣 15 名, その他奨学金 66 名であった。  
令和 3 年 11 月 1 日の私費(その他奨学金を含む), 国費, 政府派遣の内訳と比較し, 大きな差は見られなかった。

### 1.8 専門（有効回答410）



回答者の内訳は理系 162 名, 文系 202 名, その他 46 名であった。  
文系の回答者が全体の約半数を占めており, この傾向は例年と変わらない。

### 1.9 広島大学での在籍年数（有効回答410）

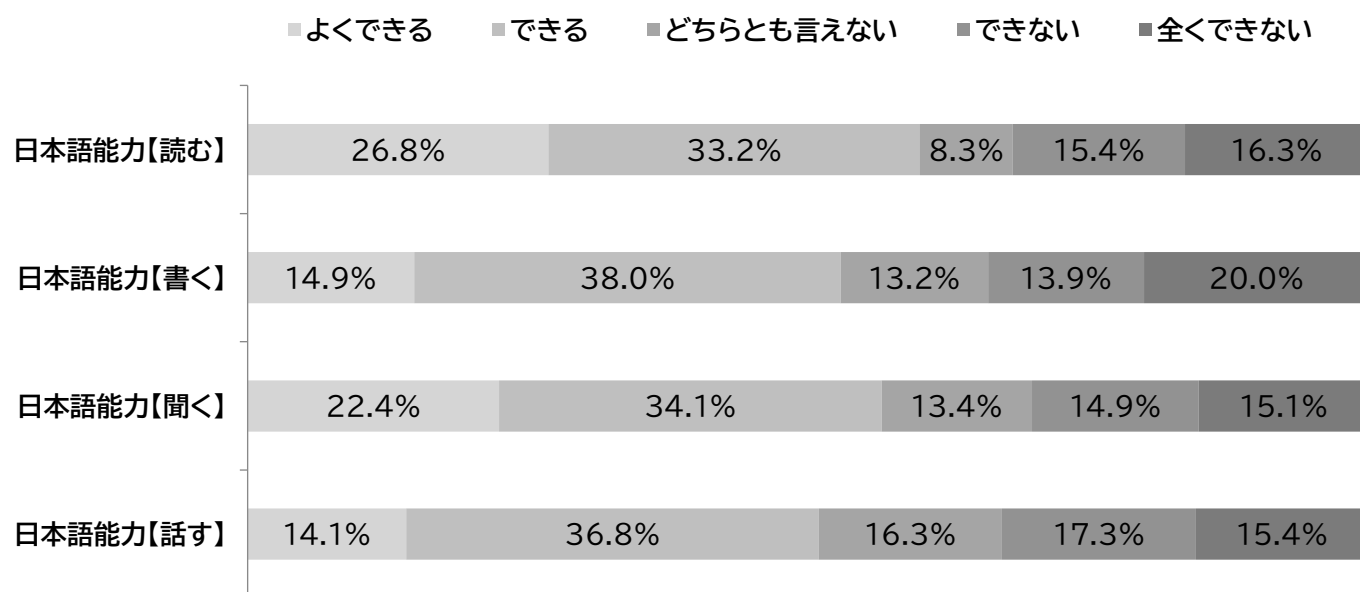


在籍年数が3年未満の回答者が全体の約8割を占めた。

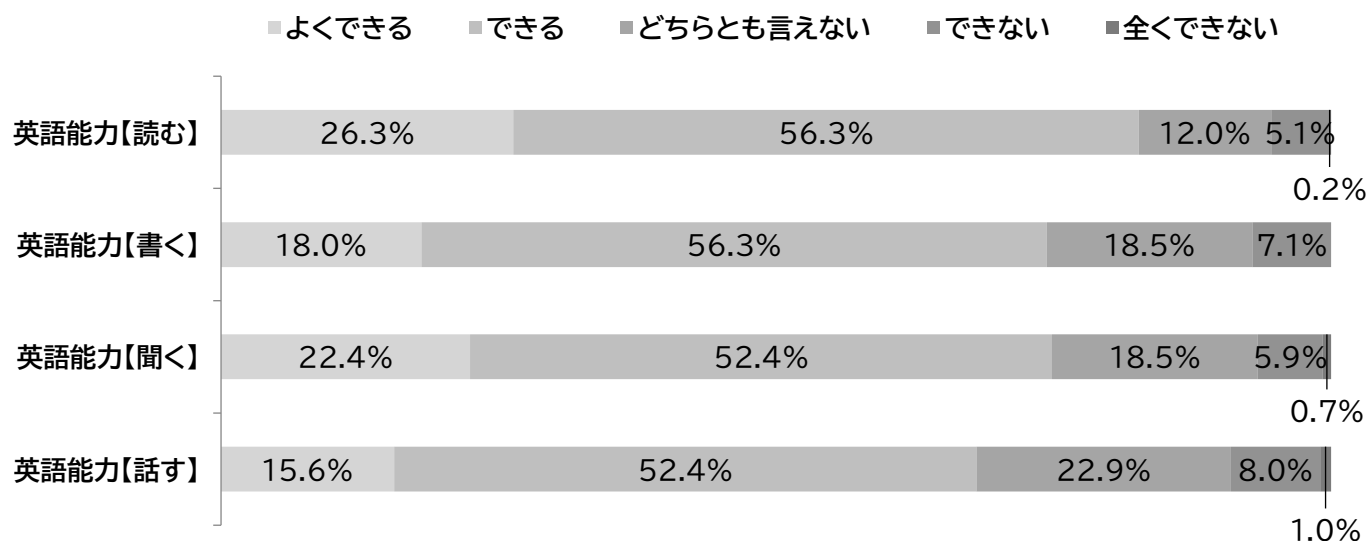
過去3年間の調査と比較すると、在籍年数が2年未満の学生の割合が減少しており、2年以上3年未満の学生の割合が増加している。

## 2. コミュニケーション言語について

### 2.1 あなたの日本語能力はどのくらいですか？(有効回答410)



### 2.2 あなたの英語能力はどのくらいですか？(有効回答410)



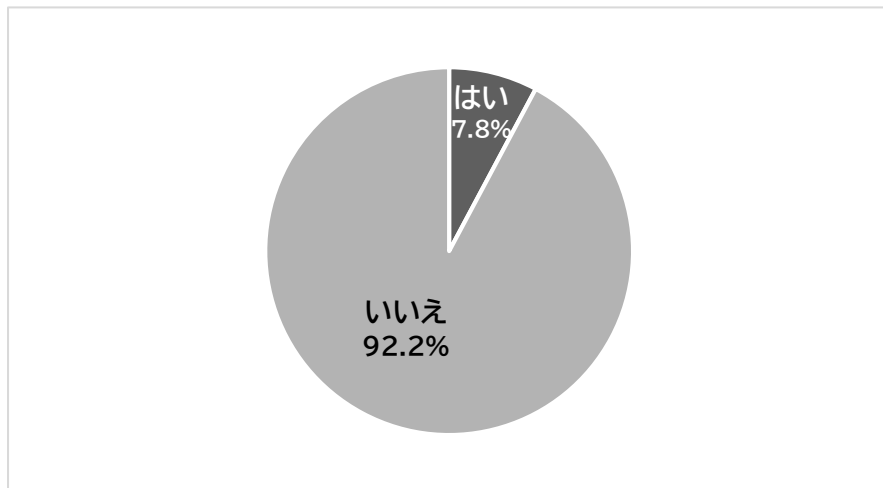
「できない」もしくは「全くできない」と答えた学生の割合は、英語においてはいずれの技能でも多くて10%程度に留まったのに対し、日本語においてはいずれの技能においても30%を超えている。



### 3.広島大学と指導教員について

#### 3.1 あなたは留学フェアに参加したことがありますか？(有効回答410)

【回答者全体】



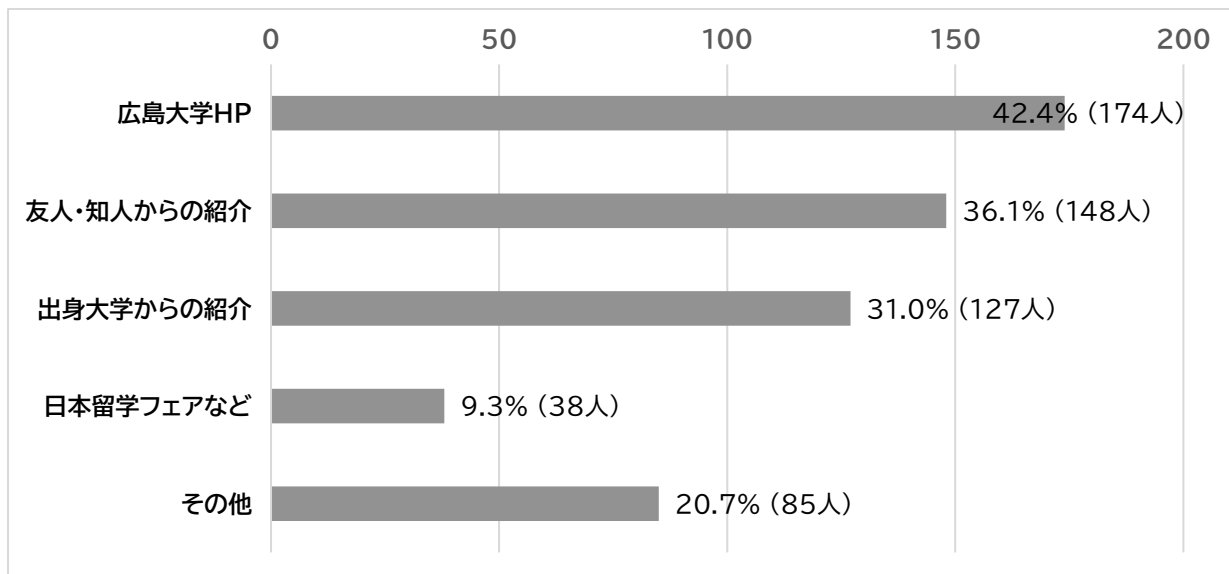
9割以上の学生が留学フェア参加経験「なし」と回答した。留学フェアは外国人留学生を獲得するための有力な手段として位置づけられ、新型コロナウイルス感染症の世界的流行以降、特に令和3年度からはオンライン留学フェアへの参加数も増加していたが、現時点では参加経験「あり」と回答した割合に大きな変化は見られない。令和4年度も複数回のオンライン留学フェアの参加を予定しているため、参加経験「あり」と回答する割合が今後どのように変化するか、数年の間注視する必要がある。

【私費／国費】

		はい		いいえ		計
		n(人)	%	n(人)	%	n(人)
全体		32	7.8	378	92.2	410
私費・ 国費	私費	17	6.5	245	93.5	262
	国費	9	13.4	58	86.6	67
	政府派遣	1	6.7	14	93.3	15
	その他	5	7.6	61	92.4	66

留学フェアへの参加経験を私費／国費別に比較したところ、国費留学生の方が参加経験「あり」の割合が全体と比較してやや高い特徴が見られた。

### 3.2 あなたは、どんな情報をもとに広島大学を選びましたか？(複数回答可)



前年度調査からの比較では、「広島大学ホームページ」と回答した割合が上昇(31.7→42.4)しており、複数言語での積極的な情報公開が奏功していると言える。

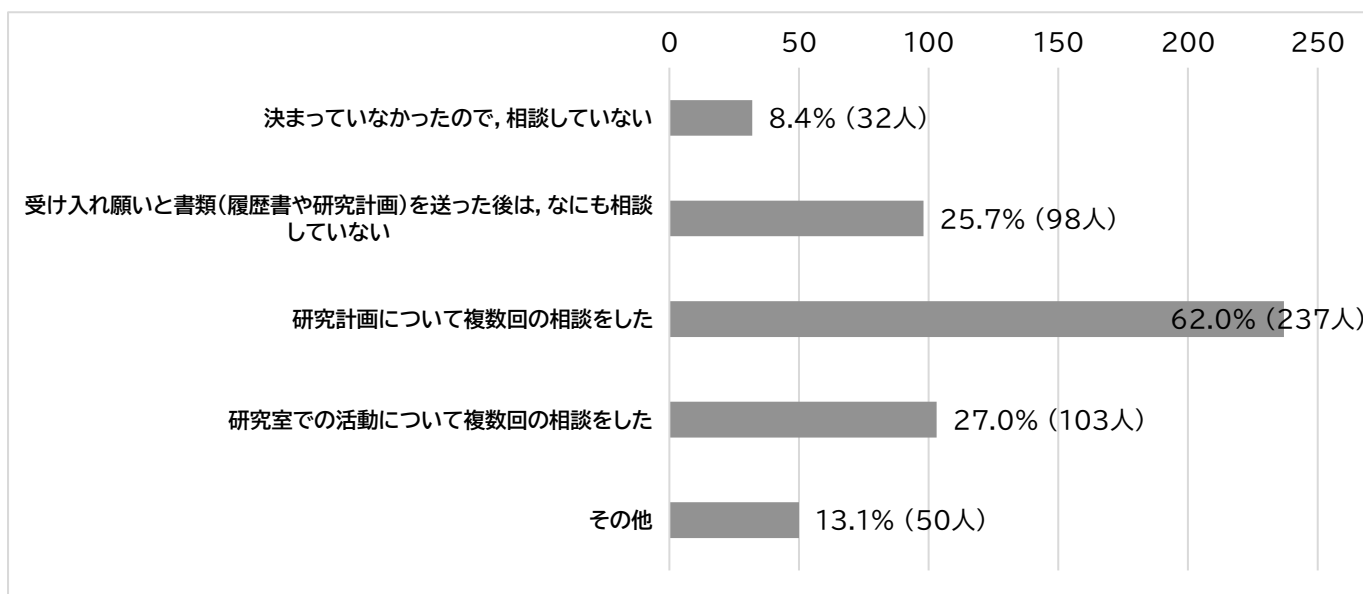
#### 【私費／国費】

		広島大学 HP		出身大学からの紹介		友人・知人からの紹介	
		n(人)	%	n(人)	%	n(人)	%
全体		174	42.4	127	31.0	148	36.1
私費・ 国費	私費	118	45.0	91	34.7	80	30.5
	国費	24	35.8	16	23.9	33	49.3
	政府派遣	6	40.0	5	33.3	5	33.3
	その他	26	39.4	15	22.7	30	45.5

私費／国費別に比較したところ、国費留学生の「広島大学を友人・知人からの紹介によって選んだ」割合が高い傾向がある。

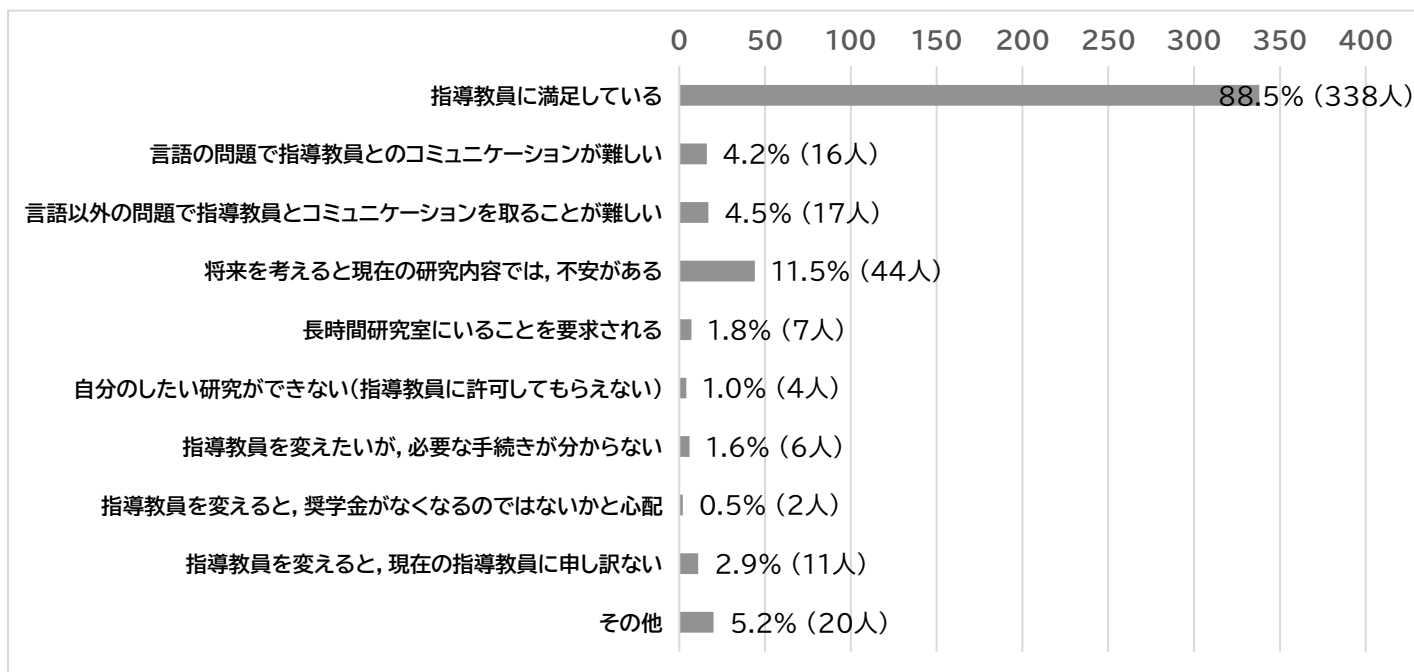
### 3.3 あなたは来日前に指導教員とどのような相談をしましたか？(複数回答可)

【回答者全体】



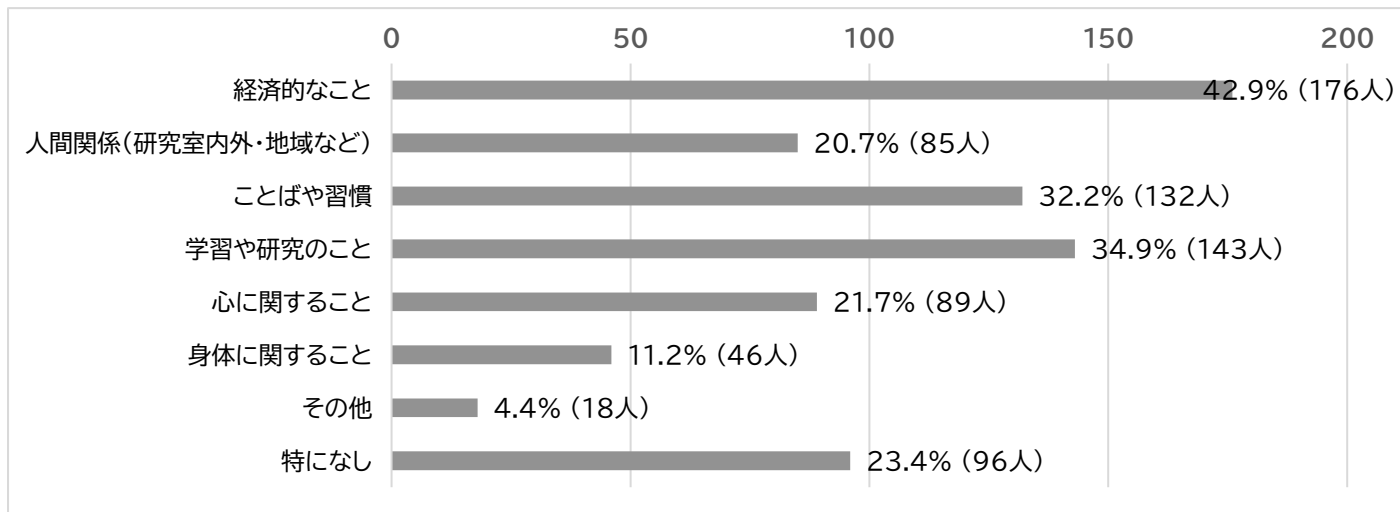
### 3.4 指導教員との関係において、次のうちどれがあなたにあてはまりますか？(複数回答可)

【回答者全体】



## 4. 学生生活支援について

### 4.1 学生生活の中で困っていることがありますか？（複数回答可）



令和3年度調査と比較し、全体の傾向に大きな差は見られなかった。

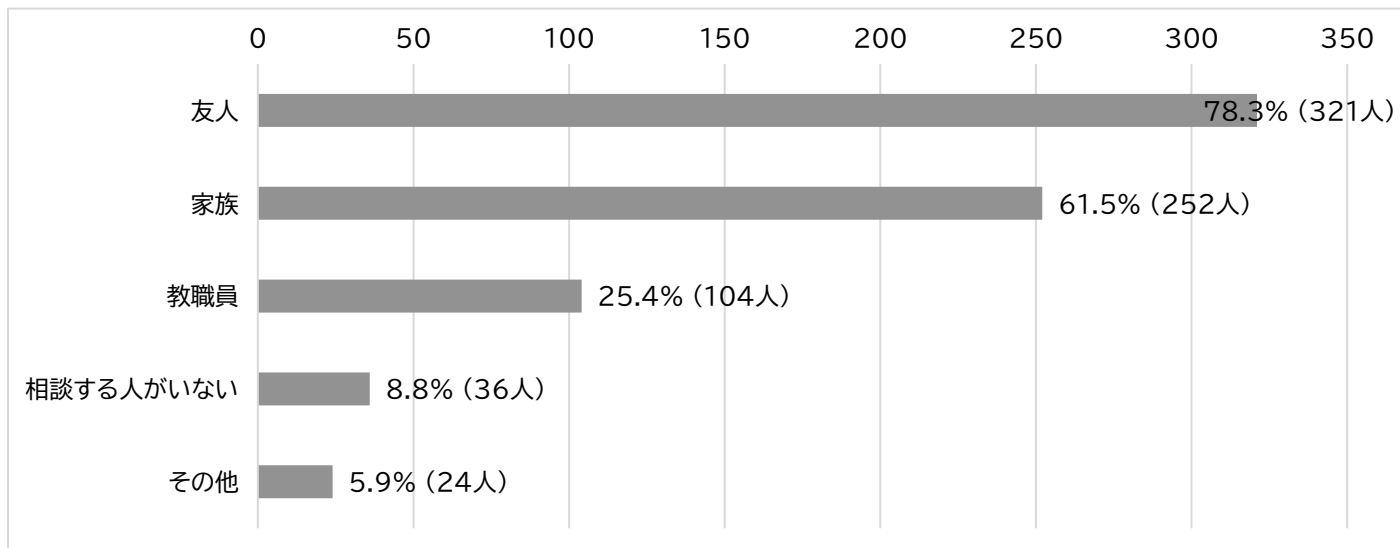
#### 【専門】

	経済的なこと		人間関係(研究室内外・地域など)		ことばや習慣		学習や研究のこと		
	n(人)	%	n(人)	%	n(人)	%	n(人)	%	
全体	176	42.9	85	20.7	132	32.2	143	34.9	
専門	理系	52	32.1	27	16.7	63	38.9	44	27.2
	文系	115	56.9	54	26.7	54	26.7	86	42.6
	その他	9	19.6	4	8.7	15	32.6	13	28.3

専門別に比較をしたところ、全体的に文系の学生の方が「困ったことがある」と回答する傾向がある一方で、「ことばや習慣で困ったことがある」と回答した学生の割合は理系の方が高かった。

### 4.2 困ったことがあるときにはおもに誰に相談しますか？（複数回答可）

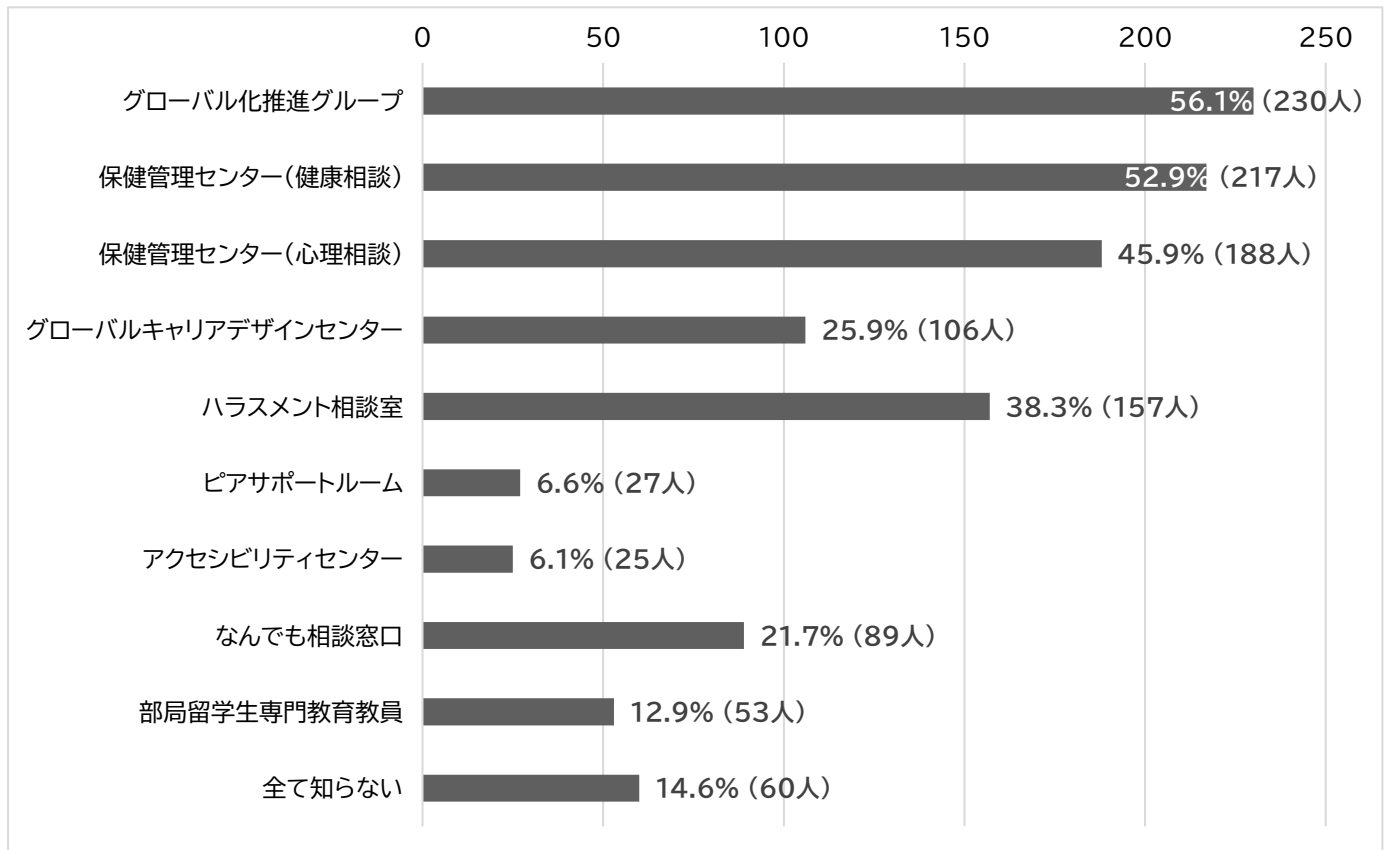
#### 【回答者全体】



困ったときの相談相手として、全体の 78.3%が「友人」と回答しており、家族(61.5%)、教職員(25.4%)と続く。前年度調査と比較し、大きな変化は見受けられない。

### 4.3 学生生活支援のための次の相談窓口があることを知っていますか？(複数回答可)

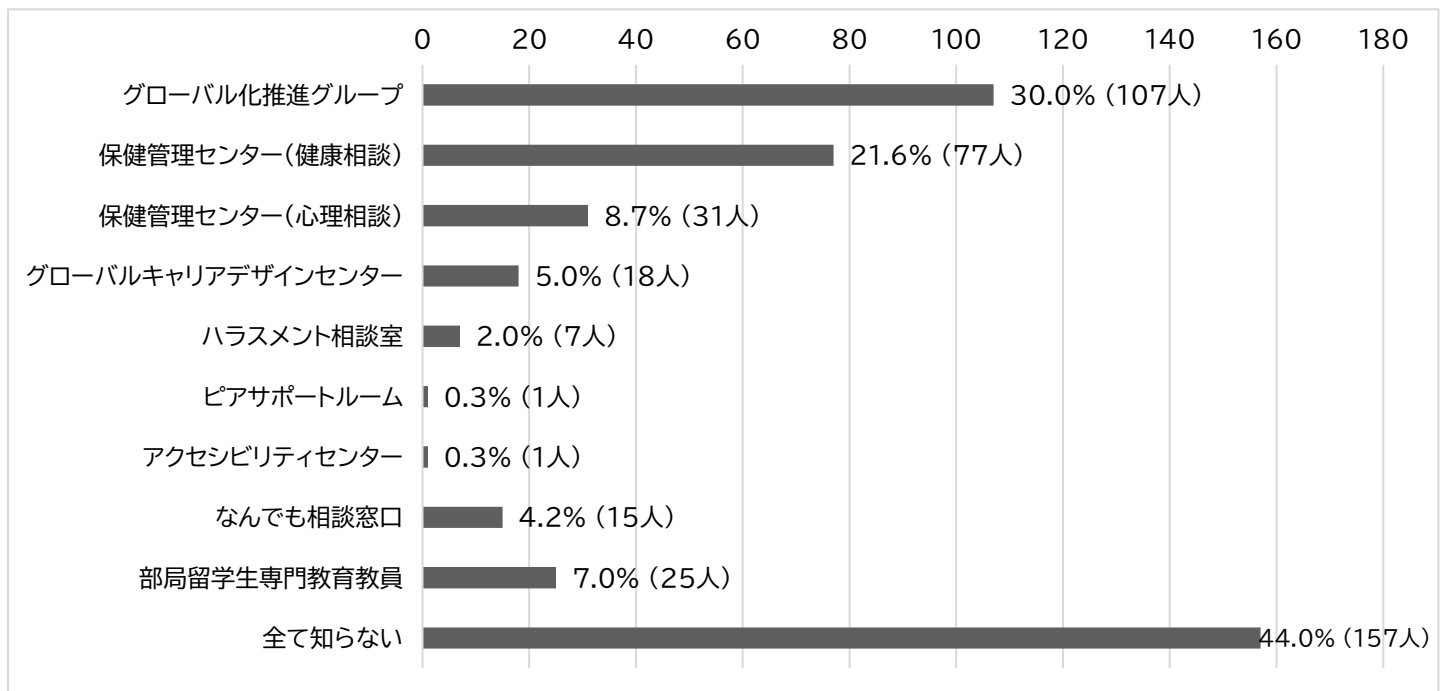
【回答者全体】



昨年度調査と比較し、グローバル化推進グループの認知率が上昇した(前年度:50.0%)一方で、保健管理センター(前年度:健康相談 65.0%, 心理相談 54.8%)やなんでも相談室(昨年度:28.8%)の認知率が低下した。アンケート実施時点では、水際対策により留学生の新規渡日が閉ざされている状況が続いており、キャンパスに来たことのない学生が一定数いたことが一因であると考えられる。

#### 4.4 学生生活支援のための次の相談窓口を利用したことがありますか？(複数回答可)

【回答者全体】

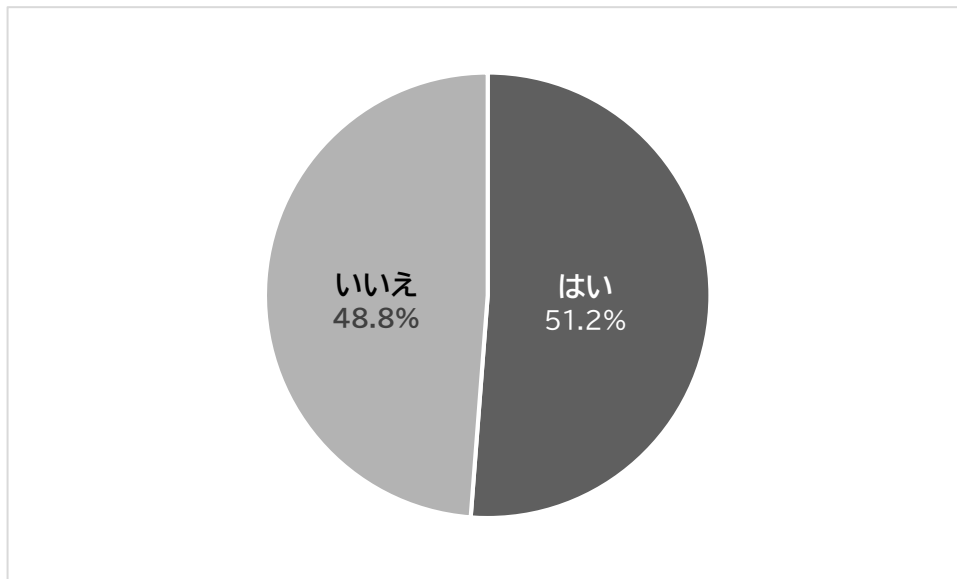


前年度調査と比較したところ、グローバル化推進グループの窓口を利用したことがあると回答した学生の割合が上昇した。(前年度 25.0%)

要因として、2020年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて国際交流イベントの開催を見合わせていたものの、2021年度から再開したことや、グローバル化推進グループの窓口で新渡日時の行政手続き等の受付を行ったことなどが考えられる。

#### 4.5 あなたは日本の企業への就職を希望していますか？(有効回答 410)

【回答者全体】



回答者全体のうち、およそ半数が日本企業への就職を希望している。

		はい		いいえ		計
		n(人)	%	n(人)	%	n(人)
全体		210	51.2	200	48.8	410
学籍	学部生	14	63.6	8	36.4	22
	博士課程前期	98	46.0	115	54.0	213
	博士課程後期	71	58.7	50	41.3	121
	研究生	17	50.0	17	50.0	34
	特別聴講学生	10	55.6	8	44.4	18
	その他	0	0.0	2	100.0	2

学籍別に比較したところ、学部・博士課程後期在籍者に日本企業への就職希望者が多い傾向があることが判明した。

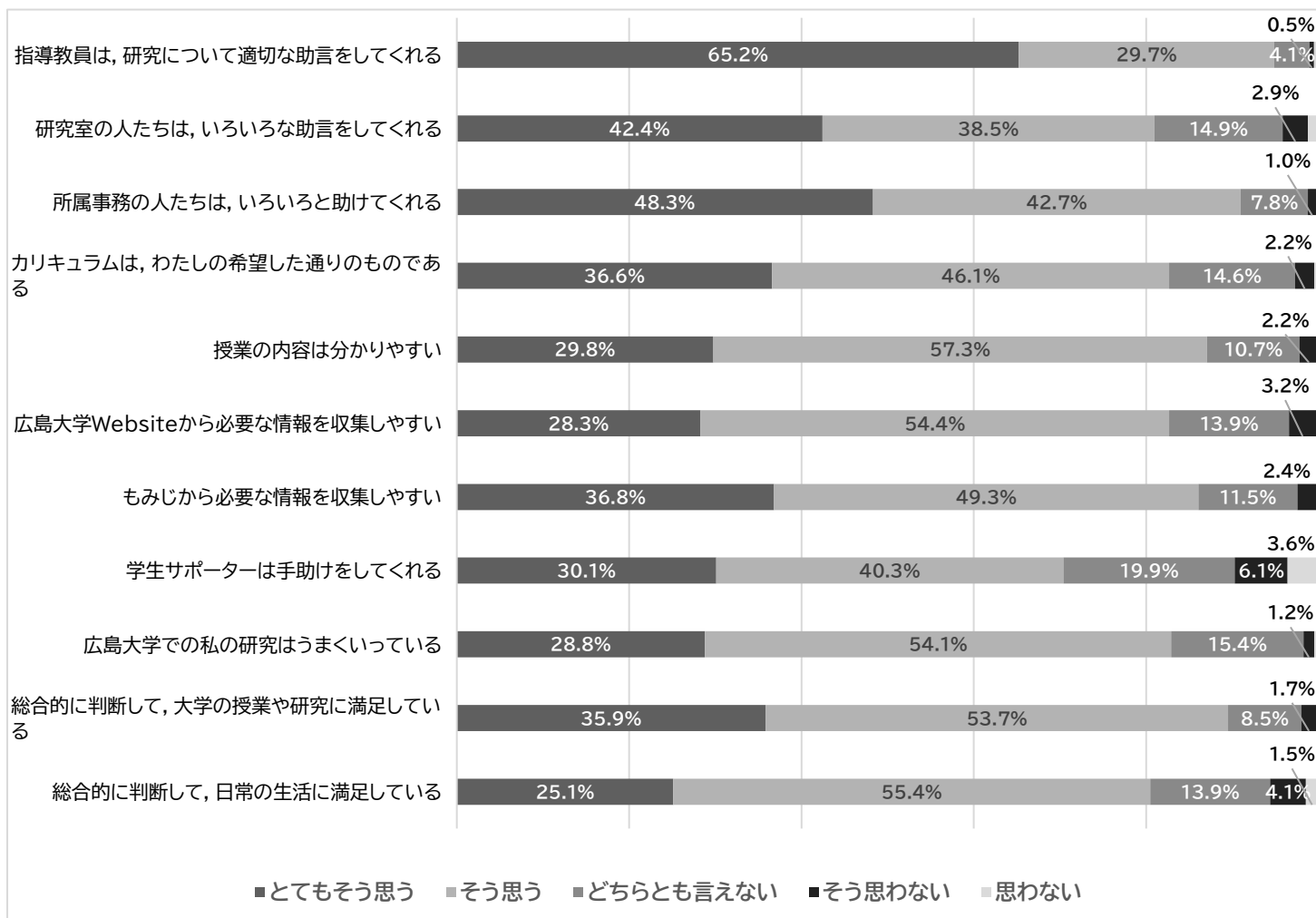
【設問 4.3, 4.4 との比較】

全体の約半数が日本企業への就職を希望しているものの、設問 4.3・4.4 でグローバルキャリアデザインセンターを「知っている」「利用したことがある」と回答した留学生はそれぞれ 25.9%、5.0%にとどまっている。



## 5. 広島大学における学習、生活に関する満足度

広島大学に関する以下の内容について、あてはまる回答の数字を選択してください。



## 留学生満足度の平均値経年比較

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	
									前年度との比較 (0.05ポイント以上の変化)	
指導教員は、研究について適切な助言をしてくれる	4.40	4.43	4.34	4.36	4.52	4.47	4.52	4.57	4.59	変化なし
研究室の人たちは、いろいろな助言をしてくれる	4.00	4.08	4.11	4.02	4.12	4.05	4.13	4.17	4.18	変化なし
所属事務の人たちは、いろいろと助けてくれる	4.21	4.25	4.32	4.34	4.35	4.31	4.36	4.32	4.38	↑
カリキュラムは、私の希望した通りのものである	3.73	3.75	3.89	3.96	4.03	4.01	3.98	4.06	4.16	↑
授業の内容はわかりやすい	3.76	3.76	3.88	3.84	3.93	3.99	3.91	4.08	4.15	↑
広島大学Websiteから必要な情報は収集しやすい	3.83	3.86	3.99	3.99	4.03	4.06	4.12	4.09	4.07	変化なし
もみじから必要な情報は収集しやすい				4.12	4.17	4.20	4.26	4.2	4.2	変化なし
学生サポーターは手助けをしてくれる	3.88	3.86	4.08	4.02	4.00	3.99	3.98	3.97	3.87	↓
広島大学での私の研究はうまくいっている	3.93	3.87	3.92	3.96	4.04	4.00	4.09	4.03	4.1	↑
総合的に判断して、大学の授業や研究に満足している	4.11	4.12	4.10	4.16	4.14	4.17	4.22	4.21	4.23	変化なし
総合的に判断して、日常生活に満足している	4.03	4.03	4.02	4.02	3.99	3.98	4.05	3.95	3.99	変化なし

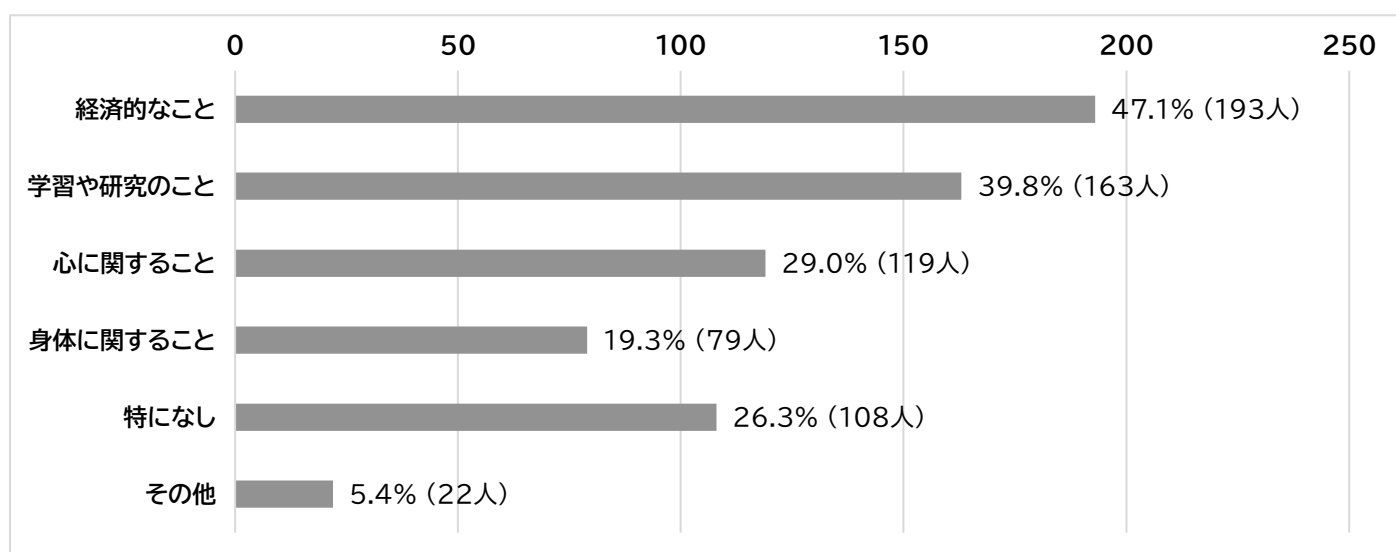
2013年以降の数値と比較したところ、学生サポーターへの満足度が近年下降傾向にある。アンケート

ト実施時点で新入学留学生在が渡日できない状況が続いていたため、そもそもサポーターの手助けを受けられなかったことに起因する可能性もあるが、学生サポーターへの指導内容等について見直す必要があると考えられる。先の設問でも述べたように、2020年以降グローバル化推進グループの窓口で新渡日時の行政手続き等のサポートを行っている。直近の2022年秋入学の留学生については、全体のおよそ半数の233名がサポートを利用した。これにより、市役所を訪れる必要がなくなることで、結果として他のサポートに時間を費やせる時間が増えることで、満足度の上昇に寄与する可能性がある。

## 6. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

### 6.1 新型コロナウイルスの流行により、困ったこと、または現在困っていることはありますか

(有効回答 410)



		経済的なこと		学習や研究のこと		心に関すること		身体に関すること	
		n(人)	%	n(人)	%	n(人)	%	n(人)	%
全体		193	47.1	163	39.8	119	29.0	79	19.3
私費・国費	私費	163	62.2	113	43.1	81	30.9	63	24.0
	国費	15	22.4	24	35.8	19	28.4	9	13.4
	政府派遣	3	20.0	5	33.3	5	33.3	1	6.7
	その他	12	18.2	21	31.8	14	21.2	6	9.1
専門	理系	59	36.4	54	33.3	42	25.9	21	13.0
	文系	121	59.9	93	46.0	69	34.2	49	24.3
	その他	13	28.3	16	34.8	8	17.4	9	19.6

昨年度の調査と比較して、全体の傾向に大きな差は見られない。約半数の学生が経済的なことで困った(困っている)と回答しており、特に私費の学生は6割以上の学生が経済的なことで困った(困っている)経験があることがわかる。

専門別に比較したところ、文系の学生の方が「困ったこと、または現在困っていることがある」と回答した割合が高かった。

6.2 その他何か困っていることがあれば自由に書いてください。

「特になし」等を除き 76 名が回答。内容を以下にまとめる。

【経済的なこと】

- ・アルバイトのシフトが減り、自身の収入が減少した
- ・コロナ禍により家族の収入が減少した
- ・経済的な問題を抱えているが支援を受けられず、心身の不調につながっている
- ・授業料の支払い
- ・渡日できていないために奨学金が受け取ることができない

【学習や研究のこと】

- ・海外でオンライン授業を受けているため教科書が買えず、学習が困難である
- ・授業のオンライン化
- ・研究室が自由に利用できず仲間もいないため、学会発表や研究論文について相談できない
- ・海外渡航ができないためデータやサンプルの収集ができない

【心に関すること】

- ・パンデミックにより、メンタルヘルスに影響があった。

【入国関係】

- ・時間が短いため、実際に渡日することが困難
- ・渡日できる見込みがたたず、ストレスがたまっている
- ・渡日できていないため、研究が予定通りに行えない
- ・早く渡日をしたい／渡日できずに困っている

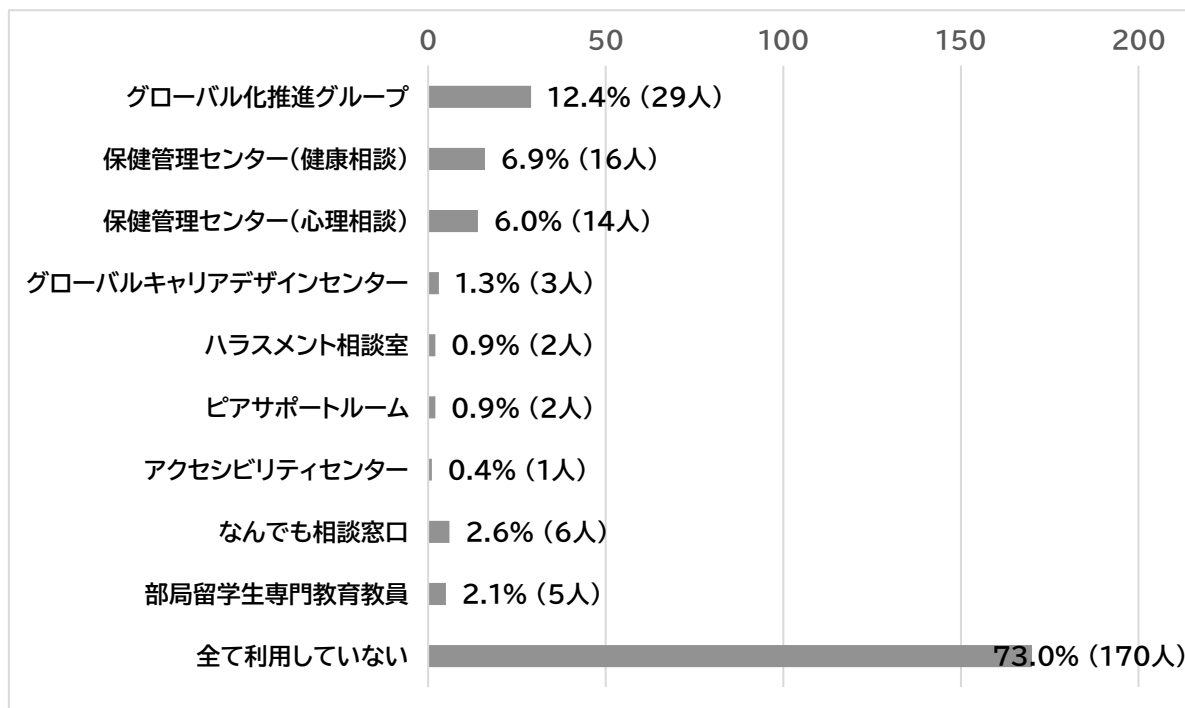
【その他】

- ・旅行に行ったり自由に帰国したりすることができない
- ・家族や友人に会えない／家族の呼び寄せができない
- ・日本人や他の留学生とコミュニケーションがとれない
- ・就職など将来のことに不安を感じる
- ・宿舎探し
- ・人が集まっているため、食堂を利用しづらい
- ・混雑している場所に行くことに不安を感じる
- ・感染が心配なため登校するのが不安

・

### 6.3 「特になし」以外を答えた場合、次の相談窓口を利用しましたか。(複数回答可)

(有効回答 233)



「全て利用していない」と回答した学生が約 7 割となり、圧倒的な結果となった。アンケート実施時点で渡日できていない学生も対象者に含まれているため、実際に日本に滞在する学生に範囲を絞った場合「全て利用していない」割合は低下する可能性がある。

## 7. 自由記述(質問項目「なにか意見がありましたら、書いてください。」)

「特になし」等の回答を除き 29 名が回答。内容を以下にまとめる。

### 【経済的なこと】

- ・研究に専念するために、留学生向けの経済支援がもっとほしい
- ・授業料免除の申請について、入国ができないため在留カード等の書類が提出できないことを考慮してほしい。
- ・渡日ができない学生のために、海外の銀行口座にも奨学金が振り込まれる仕組みがほしい。

### 【人間関係】

- ・研究室の日本人学生が留学生に対して不親切である。
- ・現在の研究テーマに意欲がわかず、指導教員に相談をしたが取り合ってもらえない。指導教員が不必要なことをさせるため、時間を無駄にしている。

### 【新型コロナウイルス関係】

- ・水際対策により入国できない状況が続いていた場合、修了できるか疑問である。
- ・政府に働きかけをして一刻も早く留学生が入国できるようにしてほしい。また水際対策に関する情報提供をしてほしい。

### 【大学の支援体制】

- ・コロナ禍では多くの学生が研究に行き詰まるため、指導教員からのサポートをより手厚くしてほしい。
- ・論文のチェックについて、日本語・英語のチェック、研究指導などの支援がほしい。
- ・留学生に対し、英語でのサポートを増やしてほしい。事務スタッフとのミスコミュニケーションが発生し、書類の訂正のために何度も支援室に通わなければならなかった友人がいる。
- ・英語で開講されているプログラムに入学したにもかかわらず、ほとんどの授業が日本語で実施されてことや指導教員との人間関係に悩み、保健管理センターや留学生担当教員に相談に行ったが解決できなかった。
- ・広島大学は留学生に完全に開かれていないと感じる。もっと英語での説明を増やしてほしい。
- ・相談窓口の利用方法がわからない。

### 【その他】

- ・指導教員や支援室のサポートに満足している。(複数回答)
- ・食堂の食べ物をもっと安価にしてほしい。
- ・大学内にコンビニがほしい。
- ・日本と母国の時差により寝付けず、集中力が低下することがある。
- ・将来日本に戻り、博士課程後期に進学したいと考えているため、卒業後も大学と連絡を取り続けたい。
- ・多要素認証をやめてほしい。